



ハクセル美穂子のポリティカル・テーマ

100年先も

「いわて」が「いわて」であるように、
みんなで創る「いわて」

岩手県議会議員

ハクセル美穂子

いわて県政レポート

2018
秋号

Growing Together!
みんなで創る「いわて」

ハクセル美穂子 これまでの活動

2018年
7月

◎商工文教委員会県内・東北調査

今回の調査では、隣県秋田の優れた取り組みを中心に視察。秋田県立近代美術館が小中学校へ出張して芸術を教える教育普及事業を調査しました。学校教員の負担を軽減する工夫と、県民がどこに行ってもその生活の中で文化芸術に親しむことができる素地を作ることを目的に活動を展開されており、岩手県においても参考すべき事業だと思いました。その後、秋田県五城目町の地域活性化支援センター、シェアビレッジ町村において、廃校を活用した起業・事業支援拠点と古民家を活用した都市部の若者との交流活動について視察しました。挑戦に元気をいただきました。ほかに、地域を担う農業人材を多数輩出する秋田県立大曲農業高校のスーパープロフェッショナルハイスクール、私の地元雫石町にある小岩井農牧株式会社の重要文化財指定に関連する史跡と取り組みを視察しました。



秋田近代美術館



五城目町地域活性化支援センター



大曲農業高校

2018年
8月

- ◎商工文教常任委員会
- ◎県政調査会
- ◎防災減災対策調査特別委員会

◎親子県議会教室

岩手県議会史上初の「夏休み親子県議会教室」が開されました。小学5年、6年の子供たちを中心に16組33名の親子連れが参加され、県議会の役割や県議会の仕事について楽しく学びました。私は県議会クイズを担当！県議会や県政にまつわる面白いクイズを出題しました。また、本会議場や特別委員会室、普段は議員もなかなか近寄れない秘密の電話など、たくさんの事をご紹介することができ、「面白かった」という感想をいただきました。参加された皆様、誠にありがとうございました！

◎男女共同参画現地調査

男女共同参画事業の先進地である札幌市とプラチナくるみん認証を取得し会社を挙げて女性活躍推進に取り組んでいるホシザキ北海道株式会社様、2002年から企業内保育所を作り、女性の活躍を支援し続けている株式会社ダイナックス様の取組を視察。女性支援関連部署の連携の在り方やくるみん認証、企業内保育所事業の活用について学びました。

2018年
9月

◎9月定例会

ハクセル美穂子四度目の一般質問！次期総合計画中間案をめぐり知事に迫ります。詳しくは裏面にて！

◎決算特別委員会

平成29年度岩手県一般会計決算と13の特別会計決算審議を行いました。岩手県の将来の財政状況を示す中期財政見通しによると、今後、59億円から95億円の歳入不足が見込まれます。そのような状況下、確実な予算の確保と適正な執行を求める付帯意見を添えて認定となりました。



四度目の一般質問！ これからのいわての 10年を問いました。

9月13日から10月15日の33日間にわたって県議会9月定例会が開会されました。9月定例会では、通常の日程に加えて平成29年の決算審議を行う決算特別委員会も開かれます。私は、今回、四度目の一般質問に登壇。一問一答方式で80分間、次期総合計画をはじめとした県政の重要課題について知事、執行部幹部職員と議論しました。質問の主なものを次にまとめてみました。

私の質問: 次期総合計画は、「幸福を守り育てる」という抽象的な表現ではない具体的な基本目標を用いるべきと考えるが、今回の基本目標について知事の認識を伺う。



答弁: 「幸福を守り育てる」というのは、幸福が満たされるという状態は設定せず、「今よりもさらに高めることができる」、「幸福は育てられる」というような形で「これ以上やらずに良い」という考えにつながらないようにするということが1つある。また、「守る」ということは、実は、「幸福がない状態」というのではないのではないかと考えていて、「守るべき幸福というものが自分の中や地域の中にあるのではないか」という形で、「ないもの探し」から「あるもの探し」へ地位での活動が変わっていくのではないかと、そういう効果もあるのではないかと考える。

私の質問: 10年後のいわての目指す姿について具体的にどう描いているのか伺う。

答弁: 目指す10年後のいわて像については、定性的な目標として、10の政策分野において、例えば「教育」において「学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手」、「居住環境・コミュニティ」に関し「不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことができる岩手」等と目標を掲げ、さらにその具体的内容については、10の政策分野のものとの基本方向で描いているところである。

私の質問: 次期総合計画では農林水産業が雇用・仕事分野に組み入れられ県の推進策が分かりづらい。これから10年後の農林水産業の姿をどのように描いておられるのか知事のお考えを伺う。



答弁: ①経営力の高い経営体の育成や、時代を担う多くの新規就業者が参入し、若者や女性が能力を発揮できる環境の整備、②先端技術の積極的な活用など、生産現場のイノベーションの推進による生産性や収益力の高い産地づくり、③安全・安心で高品質な県産農林水産物のブランド化や、産地と消費者との交流等を通じた販路の開拓・拡大、④地域資源を活用した農山漁村ビジネスの展開や都市住民との交流等による地域活性化に重点的に取り組み、生産者が豊かさを実感し、意欲と希望を持って生産活動に携わることができる「強い農林水産業」と、豊かな自然と共生し、農山漁村でいきいきと暮らすことができる「活力ある農山漁村」を車の両輪として、意識しながら取り組んでいくべきと考えている。

他に、広域的予防接種事業の進捗状況、病児・病後児保育の地域間連携、ナショナルサイクルルート、山岳ガイド等の連携体制、部活動指導者の指導体制等について、質問をしました。

一般質問の映像や内容を
県議会のホームページで
見る事ができます。
ぜひ、ご覧ください!



2018秋号コラム COLUMN

新しい総合計画の検討が始まっています。
いわてに住まうみんなでこれからのいわての10年を考える
第一歩として、みんなでいわての将来を話し合う場を創りました。



Dreaming of the next ten years プロジェクト 育むいわてこれからのいわての10年を考えよう! vol.1ヘルスプロモーション -健康・医療・福祉- を開催しました!



自治体で作る「総合計画」とは、その自治体がどのような取組をしていくのかを示すもので、岩手県では10年に一度、策定される県の施策を表した計画です。

現在、岩手県では、来年度からの「総合計画」、いわゆる「次期総合計画」の策定を進めていますが、これからの10年、社会は大きく変化するといわれています。これからは、私たち県民一人ひとりが、それぞれのこれからの10年を考えていく必要があります。このことから、今回、Dreaming of the next ten years プロジェクト育むいわて これからのいわての10年を考え



よう!を開催することにいたしました。

今回のテーマは、ヘルスプロモーション「健康・医療・福祉」。ヨガ体験で十分に心と体を解きほぐした後、座談会形式でざっくばらんな話し合いをしました。座談会の冒頭には、体にやさしいノーシュガースイーツを試食。優しい甘さで

さらにリラックスした雰囲気の中、真剣な課題提起がされました。

座談会の中で挙げられた今後の課題として、「医療機関の偏在」「子ども食堂だけでなく、老人向けの食堂も必要になってきた」「経済力がないために病院に行きたくてもいけないお子さんがいること」「親の介護にかかわる悩み」「自死の大きな要因が、病気による経済苦であること」「子どもが地域でかかわってける環境整備」などが出されました。

今回の話し合いの中で出てきた課題は、これからの議会審議の中で生かしていきたいと思っております。参加された皆さま、誠にありがとうございました。

ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 雫石町生まれ
家族 / アメリカ人の夫、4人の息子(小6、小4、小3、年長)
職業 / 英会話教室経営
趣味 / 読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり
学歴 / 雫石町立御明神小学校 [S62卒]・雫石町立雫石中学校 [H2卒]・盛岡第四高等学校 [H5卒]・岩手大学農学部 [H9卒]
経歴 / 平成9年 雫石町役場入庁
平成17年 夫とともにアメリカへ移る
平成18年 (株) Shady Grove IntI設立 代表取締役就任
平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選

ハクセル美穂子オフィシャルFacebook
<https://www.facebook.com/mihokopage/>

